

らららん10号



2018.10.5

スイカをご馳走になりました

10/4(木)ゆりぐみの子ども達が、突然園長室にやって来ました。「スイカができたから、一緒に食べよう〜」何人もの子どもたちが誘ってくれました。「ええっ、本当？」ゆりぐみに行くと本当に小さくカットされたスイカがお皿に載っていました。「園長先生ももらっていいの？」と聞くと「いいから。あるよ」ということでいただくことになりました。これまでにスイカの苗をどう育てるか、小さい実は食べることができるのかなど相談にのったりすることがありました。関わってくれた人ということで、声を掛けてくれたのでしょう。子ども達の気持ちが嬉しかったです。そしてみんなで頂きました。小玉スイカより小ぶりのスイカです。よく先生がカットされたと思いました。



食べるときいろいろ話していました。「おいしい」「おいしくない」という声があります。どちらも本当だと思いました。わたしは、すごくではないけど、おいしいと感じました。お店で売っているスイカに



比べたら、やはり甘みは少ないようでした。でも、みんなで育てたと思うと、小さくても味は十分にわかりましたし、甘みも口の中にずっと残っていました。数ヶ月前からスイカの苗を、先生と子ども達が関心をもって見ていました。大きくなったらという期待感はどんどん膨らんだことでしょう。たとえ小さくても自分たちが育てたスイカは売っている物とは違うのです。きっと思い入れが特別の味にしてくれたと思いました。

野菜を育てる人たちでも、スイカは難しいといえます。小さいながらもスイカができました。第一歩にしては上出来です。もし、次の季節に挑戦したら、もっとでっかいスイカができるかもしれませんね。

野菜はきちんとお世話をすれば、しっかりと育ってくれます。こんな工夫をすればよかったと思うことをやってみましょう。上手に育てることができるようになるでしょう。

犬は好きですか？

私は小学生から高校生くらいまで犬を飼っていました。今でもときどき娘は「犬を飼いたい」と言いますが、すぐに世話を私たちがやらされそうで頑なに拒否をしています。しかし、犬が嫌いなわけではありません。そこで、犬好きな人へ私の印象に残っている本

を紹介します。子どもたちより、大人の皆さんへほっこりしてほしい内容です。

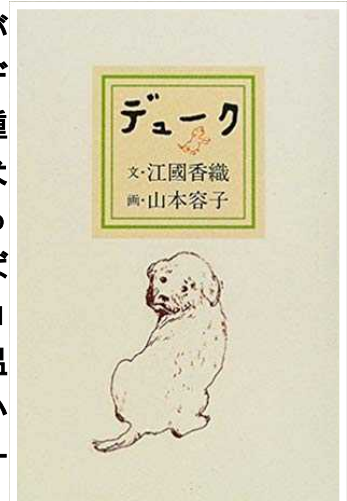
① デューク 文・江國香織 画・山本容子 講談社

わたしは、デュークという犬を飼っていた。そのデュークが死んだ。21歳のわたしは悲しくて町中を泣きながら歩いた。デュークはグレーの目をしたクリーム色のムク毛で、プーリー種という牧羊犬だ。写真を見るとすぐにわかるモップのような犬だ。電車の中で涙が止まらないとき、19歳くらいの少年に会った。彼はずっとわたしのそばにいて、さりげなくわたしをかばってくれた。わたしの気持ちを落ち着かせてくれたお礼に、コーヒーとオムレツをご馳走した。そしてクリスマス前なのに温水プールで二人で泳いだ。そしてアイスクリームを食べた。小さな美術館にも行った。落語も見た。オムレツもアイスクリームも落語もデュークが好きだった。だんだん心が重くなった。「今までずっと、ぼくは楽しかったよ。」

「そう、わたしもよ。」

「ぼくもとても、愛していたよ。それだけ言いに来たんだ。じゃあね。元気で。」

そう言うと、少年は駆けて行ってしまった。デュークが一日だけ少年になって会いに来てくれたことを悟った。わたしはそこに立ちつくしていた。



一時期、恋愛小説の作家としてとても人気のあった江國さんです。この物語は大人の絵本のようなお話です。なお、このお話は「教育出版」から出されている中1の国語科の教科書に載っているそうです。本当に素敵な短編です。皆さんにお勧めしたいです。

② ^{いぬ}こんぴら狗 今井恭子 いぬんこ・画 くもん出版

このお話は、江戸時代のことだ。しかも「こんぴら狗」は実際にあった話だ。ムツキの飼い主・弥生は病気になり床に伏せっていることが多かった。その病気を治るようにお祈りをするためムツキは江戸から金比羅さんまでお参りに出された。最初は知り合いのご隠居さんとの旅だったが……。往復約1340kmにおよぶ旅路と、出会いや別れをえがいている。



私は古典落語が好きです。特に「寿限無」や「芝浜」は江戸の庶民の優しさがよく伝わるお話です。寿限無は我が子の名を元気で長生きできるよう縁起のよい言葉を連ねたら、とんでもない長さになったというお話です。芝浜は魚屋の女房が機転を利かせ、ダンナを更生させるというお話です。この「こんぴら狗」のお話も、主人に代わってお参りをする犬をほとんどの人が可愛がったことがわかります。江戸時代は優しいと思いました。犬のたくましさにも感動しました。なお、金比羅宮には「こんぴら狗」の銅像もあります。可愛い犬なので意外でした。